

## 南無ちゃんのブログ 2013年8月

8月1日(木) 摘芯.....	2
8月2日(金) 水害復興五日目.....	2
8月3日(土) 水害復興六日目.....	3
8月4日(日) 水害復興七日目.....	3
8月5日(月) トウモロコシを守る柵.....	4
8月6日(火) サマークルージング.....	5
8月7日(水) サマークルージング二日目.....	5
8月8日(木) サマークルージング三日目.....	6
8月9日(金) 太陽光発電1万kWhを突破.....	7
8月10日(土) 二週間ぶりの鮎釣り.....	7
8月11日(日) 未熟なトウモロコシ.....	8
8月12日(月) 久々の揖保川.....	9
8月13日(火) 8月の防除.....	10
8月14日(水) 鮎足袋の修繕.....	10
8月15日(木) 九頭龍川は涼しいよ.....	11
8月16日(金) 九頭龍川に馴染めました.....	12
8月17日(土) 九頭龍川三日目.....	12
8月18日(日) 九頭龍川四日目.....	13
8月19日(月) 九頭龍川五日目.....	13
8月20日(火) 九頭龍川遠征から還って.....	14
8月21日(水) 今年のバジル栽培は失敗.....	15
8月22日(木) 雷雨で幕引き.....	15
8月23日(金) ムカデ芝の生育状況.....	16
8月24日(土) エンジンの修理.....	17
8月25日(日) イチジクのカラス対策.....	18
8月26日(月) 九頭龍へGo!.....	19
8月27日(火) 九頭龍川再遠征初日.....	20
8月28日(水) 九頭龍川再遠征二日目.....	20
8月29日(木) 九頭龍川再遠征三日目.....	21
8月30日(金) 九頭龍川再遠征四日目.....	22
8月31日(土) 帰宅しました.....	22

## 8月1日(木) 摘芯

今日はブドウ園に行って摘心、誘引、芽かぎ、虫取り、草取り、灌水作業をしました。時は既に8月1日になり、ブドウの新芽の生長もそろそろ停滞する時期ですので、少し早いかもしれませんが、ブドウの新芽の先端を摘芯しました。これから先はブドウの蔓を長く伸ばすのではなくて、蔓の軸が太くなる方向に生長させるためです。



明日から再び萩市田万川町に行くために、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、IHヒータ、オーブントースター、大工道具などを車に積み込みました。

## 8月2日(金) 水害復興五日目



朝4時半に起床、5時に自宅を出発して、9時過ぎには田万川町に到着しました。昨日の内に水道が復旧したようです。ドコモも使えるようになっていました。

昨夕も、かなり激しく雨が降ったようで、最下流の河口付近の国道9号線橋を渡った時に見た高津川は濁流でした。白上川も濁流で増水していました。写真(左上)は、今朝の田万川の様子です。今のところ洪水の心配は無さそうです。

持って行った家電製品を追加して、仮設のダイニングキッチンが完成しました。写真(右上)

義姉の夫も後片付けに手伝いに来られて、二人で畳を剥がして外に移動させました。床下にもへドロが5cm位堆積しています。写真(左下)

隣の家との共同瓦礫置き場は満杯ですが、まだまだ瓦礫があります。写真(右下)

## 8月3日(土) 水害復興六日目



今日はボランティアの方々が増援のために、この地区に派遣されました。我が家にも8の方が来られました。我が家では、倉庫の床の泥の除去や瓦礫の撤去と母屋の床下の泥の除去を手伝って頂きました。正午までの1時間半程の作業時間でしたが、大いに作業が進んで助かりました。

午後から倉庫の床を水で洗い流したり、大物の瓦礫(家具など)を道路わきの集積所に運びました。今日までの作業で、終わりが見えてきました。

## 8月4日(日) 水害復興七日目

今日はボランティアのグループが2グループ来て後片付けの手伝いをしてくれました。1つは大学生のグループで、1つはJC関連のグループです。総勢16名のマンパワーのお陰で、殆どの泥や瓦礫・込みの後片付けが済みました。

一方、市の瓦礫撤去チームも隣家との間に集積していた家具や家電製品のゴミの山を運び出

してくれました。

ボランティアの皆さんや萩市役所の皆様ありがとうございました。ご苦労さまでした。



## 8月5日(月) トウモロコシを守る柵

家内の実家から昨夜帰宅して、今朝トウモロコシ畑を見回ると、何者かがトウモロコシを3本ほど押し倒して齧った形跡がありました。まだ未熟なのですが、折角ここまで育てた作物なので、なんとか収穫したいものです。

猪が家の直ぐ傍の畑を掘って、自然薯やらサツマイモやらを食い荒らしていますが、トウモロコシは別の獣、多分狸かアナグマの仕業だと考えられます。いずれにしても対策として、ネットを張りました。3週間程前に収穫したトウモロコシと同じ形式の柵ですが、今回は作付け本数が多いので、倍の長さが必要でした。



午後からはブドウ園に行って、誘引、芽かぎ、虫取りなどのお世話をしました。圃場に少し水が溜まっていたので、灌水はパスしました。

## 8月6日(火) サマークルージング

朝7時に牛窓を出港して、家島諸島の中を通り、播磨灘を東進して垂水の三井アウトレットパークの中にあるマリーナに4時頃到着しました。

到着するとすぐに隣にある垂水温泉太平のゆに行き、湯に浸かって食事して、更に湯に浸かって、9時過ぎに戻って来ました。

温泉三昧の一日でした。



## 8月7日(水) サマークルージング二日目

朝7時に垂水を出港して、淡路島の東海上を南下し徳島を目指しました。午前中は弱い西風で、淡路島の島影になることもあって帆走できず汽走しました。

淡路島の南にある沼島を過ぎた辺りから10kt位の西北の風が吹いてきたので帆走に切り替えて徳島沖まで来ました。徳島県庁裏のケンチョピアには3時過ぎに到着しました。

今日も上陸するなり、銭湯に行きました。

徳島は鶏料理の激戦区だということで、安くて美味しいお店があるということで、三丁目のMさんに連れて行ってもらいました。鶏料理づくしも美味しかったです、芋焼酎=赤霧島はとても美味でした。



## 8月8日(木) サマークルージング三日目

朝6時に徳島のケンチョピアを出港して、小鳴門海峡を通過して牛窓港を目指しました。鳴門海峡には、巨大船や大型船が通行可能な大鳴門海峡と漁船やヨットが通行可能な小鳴門海峡があります。小鳴門海峡を通るのは初めてでした。狭い水路がくねくねと続き、運河のようです。

今日は超暑い日で、海はベタ風でした。小豆島の金ヶ崎を過ぎた頃から、やっと10kt程度の西風が吹きはじめたのでセーリングして、午後3時頃には牛窓港に帰港できました。今回は四人で三日のクルージングでした。振り返れば、クルージング+温泉+宴会三昧で、体重が3キロ程増えていたので、今日は休肝日にしました。

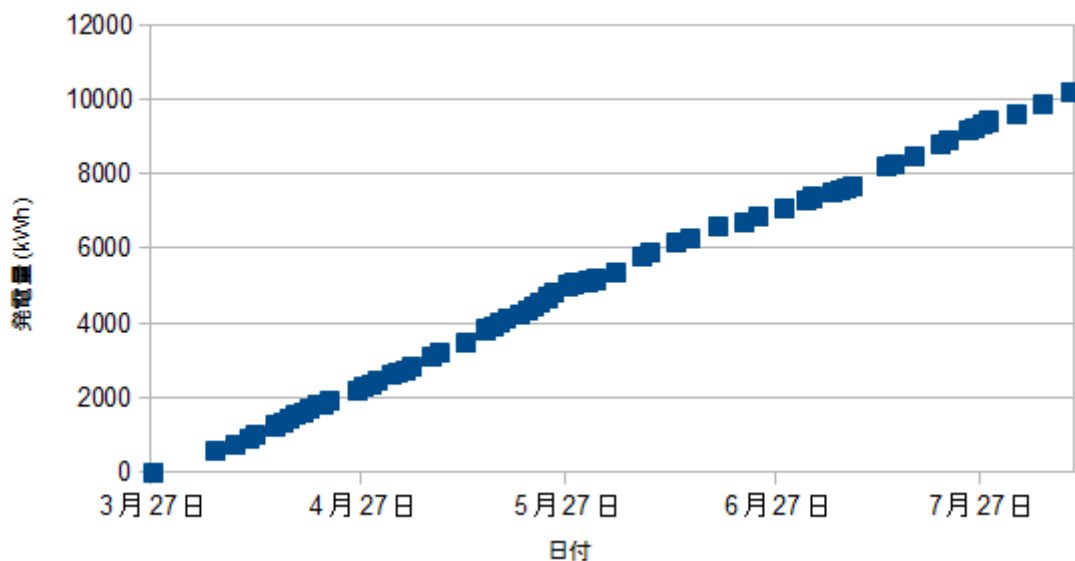


## 8月9日(金) 太陽光発電1万kWhを突破

三日程留守にしている間に、太陽光発電所の発電積算電力量が1万kWhを突破しました。8月5日朝にチェックした時には9886kWhでしたから、おそらく8月6日に1万kWhに達したものを思われます。

3月27日から数えて133日目での1万kWhの達成ですので、平均すると一日あたり75.2kWhの発電量だったこととなります。

太陽光発電は、気温が高くなる夏場の発電効率は低下すると言われてはいますが、私の処は屋根ではなく地上のパイプフレームに載せているためなのか、7月以降も順調に発電しています。もっとも、暦の上では、もう秋なので日照時間が段々と短くなるため、これからは一日あたりの発電量は徐々に低下すると思われます。



午前中はブドウ園に行って、芽かぎ、虫取り、草取りと草刈をしました。前回の草刈から3週間程間があいていたので、草ボウボウの状態でした。成果が目に見えて刈る方としてはやりがいもあり、ブドウ園も綺麗さっぱりしました。

## 8月10日(土) 二週間ぶりの鮎釣り

728水害以来、中断していた鮎釣りを再開しました。今週も家内と一緒に家内の実家に来ました。家内はお母さんと一緒に後片付けを、私は6時半に家内の実家を出て鮎釣りに行きました。

何処に入ろうかと迷いましたが、人が多いという匹見川は避けて、横田の匹見川との合流点の少し下流に入りました。漁協で買ったオトリはとても小振りな上、川の水温は高いので、オトリがバテないように時間をかけて水合わせをした甲斐があり、釣り始めて5分もしない内に最初の一尾目が掛かりました。しかし、その後が続きません。2尾目が掛かったのは1時間位後でした。その後も、根掛かりはするわ、高切れはするわで昼飯までにやっと+3尾という釣果でした。良い野鮎を釣ってはロスするということの繰り返しで、心が冷えてしまいました。

今日も猛暑日で暑い一日でしたが、何度も首まで川に浸かって涼をとりました。やっぱり暑い日は、鮎釣りが一番です。釣果の方はあまり伸びず、午後からも根掛かりで2尾ロスしたこともあり、5

時半頃までやってやっと10尾の釣果でした。水害のせいだと思いますが、私は良く根掛りしました。

高津川の本流でもアカが着き始めてぼつぼつ掛かり始めているようで、私の周囲の釣り人の竿は良く曲がっていました。多分多い人は40～50尾は釣っていらっしゃると思います。



## 8月11日(日) 未熟なトウモロコシ

朝7時過ぎに萩市田万川町を出て、浜田道、中国道を経由して、新見で今度の鮎の遠征用の食料などを調達して、正午過ぎに帰宅しました。

猛暑で暑くて家の外での活動は断念して、扇風機にあたりながら鮎の仕掛けを作って過ごしました。昨日、高津川で根掛りのために仕掛けをロスしたので補給するためと、鮎のサイズも大きくなり始めたので、仕掛けもサイズアップするためです。





5 時頃になると雲が立ち込めて雷が鳴り始めました。夕立は降りませんでしたが、雲が出て涼しくなったので、トウモロコシを採りにいきました。

6 月 3 日に種蒔きしたトウモロコシが食べ頃を迎えたようです。一番実が太ったものから順に 5 本収穫して、茹でてみました。まだ未熟です。もう少しすれば実が詰まってくるのでしょうか。

採れたてのトウモロコシは甘くて美味しかったです。完熟して硬くなったものよりも、未熟気味の方が実がプリプリして美味しいと思いました。5 本の内、2 本は虫が中に入っていました。多分、アワメイガという虫だと思われます。農薬(スミチオン)を散布したのですが、回数が少なかったのか、散布する前に食入していたのかもしれませんが、ちょっぴり残念です。

## 8 月 12 日(月) 久々の揖保川

揖保川には 5 月の末に行ったきりで、6 月 7 月は一度も行っていない。2 ヶ月ぶりに行ってみました。オトリ屋さんの情報によると、釣果は芳しくないとのことでした。今日はお盆期間中でもあり、道路が渋滞するため京阪神方面からの釣り客が少ないようです。

実は、ZipanguVII のキャプテンが鮎釣りをしているのを見たいということで、一緒に揖保川に来たのです。あまり釣れていないという情報にがっかりしましたが、坊主にならないように慎重に水あわせをして川に入りました。ポイントは山崎の蛇岩です。午前中(11 時から 1 時)2 尾、午後から(2 時から 3 時)1 尾という釣果でした。



午後からは仕掛けを荒瀬仕様に替えて、蛇岩の白泡にオトリを泳がせると直ぐにでかい奴(後で測ると 23cm でした)が掛かりました。それに気を良くして、掛かり鮎をオトリにしてもう一度白泡に泳がせると更にでかい奴が掛かり、竿を満月にして「エイッ」とばかりに抜いたのですが、ミスキャッチして、後の岩に当たって、その衝撃で針が外れて、掛かり鮎を逃がしてしまいました。オトリも同様に岩に衝突したので、瀕死の状態です。オトリを午前中に掛けた鮎や養殖に替えて再挑戦してみましたが、その後あたりはありませんでした。ちゃんちゃん！

## 8月13日(火) 8月の防除

朝7時過ぎからブドウ園の防除をしました。8月の防除は1回だけの予定です。前回の7月の2回目の防除の時には、薬剤が30Lで足りましたが、今回は50L必要でした。葉も大きくなるし蔓も長くなるので、葉面積が大きくなって、より多くの薬が必要になったということでしょう。

現在使用している噴霧器は手動ポンプ式のもので、15Lまでの薬液を背負って噴霧することができます。しかし、来年は更に葉面積が大きくなると思いますので、電動またはエンジン式の噴霧器を購入したいと思います。

午後からは、15日から九頭竜川に遠征する予定なので、そのための準備をしました。



## 8月14日(水) 鮎足袋の修繕

私はシマノのリミテッドプロ・ジオロック・3D カットフェルトフィットシューズ FS-122K を愛用しています。つまみが前にある今のポアクロージャースystemは使い心地が良く、とても気に入っています。今使っているのは昨年の6月に購入したのですが、この前、高津で川から上がる時に、靴の側面の縫い目がほつれているのを発見しました。このまま使い続けると、そこから砂が入って加速度的に破壊していくであろうことが推測されます。以前使っていた鮎足袋もそうでしたので、早めに手当てをした方が良くろうと思って修繕しました。

これで、明日から予定している九頭竜川遠征も安心です。

家内の裁縫箱から縫い針を持ち出して、糸はジーンズの縫製に使う#20の太めの糸を使いました。靴の側面に針を貫通させるのはとても力が要る作業でした。何度か針を折りながらも、何とか、糸がほつれた箇所に糸を通しました。せめて今シーズンだけでも持ちこたえて欲しいので、糸のほつれた部分に接着剤(セメダイン スーパー X)を塗って補強しました。この接着材はウェーダーの補修などにも使用して好結果を得ており、私のお気に入りの逸品です。

靴に針を通して思ったのですが、普通の縫い針は、もろくて折れ易いようです。プロの

靴職人や外科医はもっと高級な折れにくい針を使っていらっしゃるのではないかと・・・そんな針をネットで探して注文したら、靴が直るのは何時になることやら・・・と思って折れるのを承知で辛抱強く作業したのです。



## 8月15日(木) 九頭龍川は涼しいよ

8月14日の午後9時半頃に家を出て、途中で仮眠したり休憩したりして、翌15日の午前9時頃に九頭龍川に着きました。早速、森石釣具店で年券と大き目の掛けばりや錘を買いました。飯島で準備をしていたところにUさんからメールがあったので電話で返信して合流しました。オトリを服部で仕入れて初日は飯島というポイントに入りました。谷口や放水路のあたりは釣り人が多くて混雑しているのですが、飯島は釣り人が少ないのです。あまり釣れないということを意味していますが、それを承知でポイントを選定しました。広い川でゆったりと釣りがしたくてわざわざ遠征してきたのですから。

九頭龍川の水は冷たくて、胸まで浸かると寒いくらいです。先日浸かった揖保川温泉とはえらい違いです。なので、午後からはネオプレーンのジャケットに着替えました。夜も涼しくて、夜中に起きて車の後ドアを閉めたり長袖シャツ、長ズボンを着て更に寝袋をはおりました。

釣果の方は、今ひとつでした。根掛りで仕掛けを3本失う始末で、九頭龍川の釣りに慣れるまで少し訓練が必要なようです。



## 8月16日(金) 九頭龍川に馴染めました

九頭龍川2日目です。今日も飯島で頑張りました。午前中の釣果は片手ほどでしたが、午後は両手以上に釣れました。昨日の失敗は、錘をつけたことでした。今日の午前中も錘を着けていましたが、午後からはLEAD FREEです。つまり、無鉛＝錘なしということです。

錘はなくても0.05のメタルだと十分泳ぎます。オトリに乾杯&感謝です。



## 8月17日(土) 九頭龍川三日目

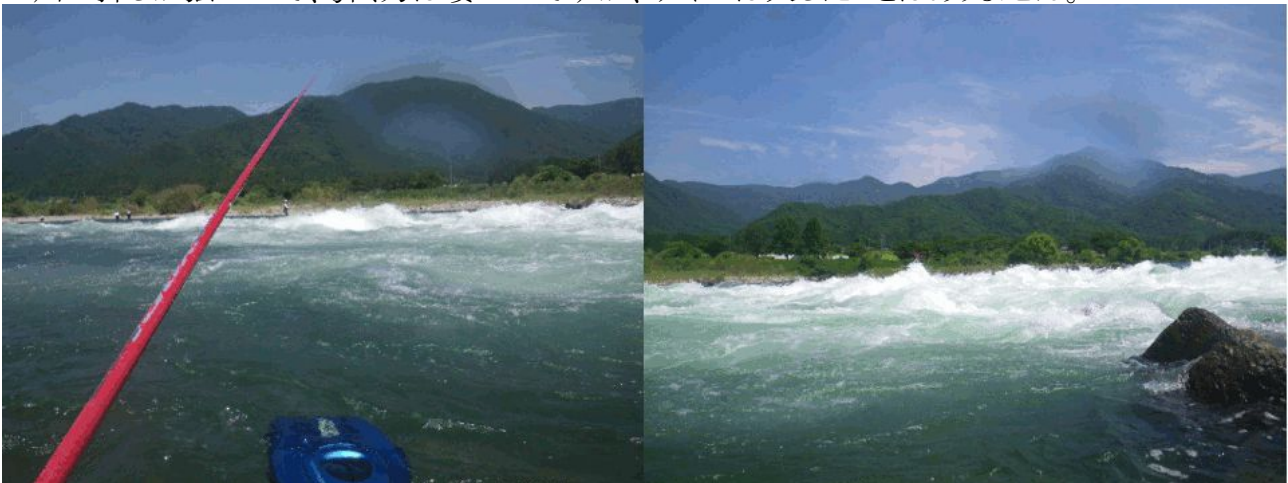
今日で九頭龍川に来て三日目です。今日も飯島です。私のキャンピングカーはオーニングにステーを張って防風対策としているため、船がアンカーを下ろしたのと同じようになっていて、到着以降微動だにしています。

午前中は一番瀬の左岸から堰堤の吐き出しをやって、午後から堰堤の左岸、3番瀬の右岸というような番組でした。午前中はパッとしませんでしたが午後から何とか明日のオトリとりはできました。

樋口さんと道下さんが来られました。樋口さんは日帰り、道下さんは1泊の予定です。上野さんは夕方、鍋を忘れて帰られました。

九頭龍川漁協のテレホンサービスでは結構大きなサイズの鮎がかかるようなことを言っていたが、私が釣った鮎の平均サイズは18cm位なものでしょうか？！

川の押しが強いので、引く力は凄いのですが、サイズは大したことはありません。



## 8月18日(日) 九頭龍川四日目

今日は昨日に比べて10cm位減水していたので、吉波というポイントに行ってみました。最初の1尾目は約23cmの大物でしたが、後が続かず、結局根掛りで失ってしまいました。周囲がぽつぽつ掛かり始めたのは10時を回った頃でした。道下さんが早めに帰るので、11時には切り上げて、また飯島に戻ってきましたが、やっぱり芳しくありませんでした。

夕方は5時過ぎには切り上げて、道下さんにもらった鮎を氷で絞めてフリーザーバッグに入れて、ちび鮎は背開きにして、一夜干しにしました。夕食は一人でしたが、持参したナスが未だ残っていたので、ナスを味噌いためを作って、レトルトのご飯を暖めて食べました。夕食の後は、今年できた新しい温泉(禅の里:永平寺温泉)に浸かって体を休めました。小さいながらもサウナもあって、町外者は¥500です。



## 8月19日(月) 九頭龍川五日目

昨日から釣り人の数が少なくなったと感じていましたが、今日は月曜日なので更に釣り人の数は少なくなりました。あまり釣れないというのも理由のひとつかもしれません。

今朝起きると、飯島の水位で昨日よりも20cm程高くなっていました。何処かの山で雨でも降ったのでしょうか？

午前中は鳴鹿堰堤の下流という数釣りでも有名なポイントに行ってみました。ポイントと言っても、川が幾筋にも分かれていて広いエリアなので、何処が釣れる場所なのか初めてなので良くわかりません。適当に瀬肩などに行って釣っていましたが、午後1時までで10尾程度の釣果でした。型は最大でも18cm位で、小さいのは12cm位でした。それでも上流に比べると釣り人の数は多かったと思います。

吉波は午後3時頃から釣れるという情報を入手したので、行ってみました。昨日とは逆の右岸から入川しました。私が行った時には右岸には一人だけで、左岸に5~6人居ただけです。5時まで頑張ってみましたが、釣果は5尾程度と振るいませんでした。型は18cm程度と小振りでした。他の釣り人の竿もあまり曲がっていなかったようです。

5時に竿を仕舞って、今日釣った鮎を氷で絞めて、森石釣具店に立ち寄って冷凍庫で冷凍していた鮎を受け取ってから九頭竜川をあとにしました。

振り返ってみると、この五日間は雨も降らず晴れの日続きで好都合でした。ところが今日帰り道に、敦賀の手前あたりからパラパラし始めて、その内ザーザーと振り出しました。今夜は舞鶴道の加斗パーキングエリアで車中泊です。雨は既に上がって、空には月が顔をだしています。



## 8月20日(火) 九頭龍川遠征から還って

今朝10時過ぎに無事我が家に帰還しました。帰宅途中に知人宅に鮎を届けて代わりにブドウを戴きました。

6日間の遠征を終えて、久振りの我が家です。丁度ヨーロッパやアメリカに出張に行った程度の期間でもあり、何だか出張に行っていたような気持ちです。久々に家族を顔を合わすと「やっぱり自宅や良いなあ」と実感します。こんな気分が味わえるのも旅の成果の一つです。

帰宅後、釣り道具の整理や車の掃除、衣類の洗濯などをしました。今日も猛暑で、日中は外に出るのが辛い程だったので、午後1時から3時頃まで昼寝をしました。3時過ぎから生長したトウモロコシを採ってきて茹でました。4時頃からF1 MASAOで太陽光発電所とアンテナタワーの下とブドウ園の隣地の草刈をしました。そう言えば、明日は電力量の検針日なので、太陽光発電所の草刈を間に合わせることができました。草ボウボウでは検針員の人も大変ですからね。



## 8月21日(水) 今年のバジル栽培は失敗

五日間も鮎釣遠征に出かけている間に、我が家のあたりでは夕立もなく日照り続きだったようで、バジルの葉が縮れて枯れかけています。苗を5本植えたのですが、今日現在まともに残っているのは2本だけです。

なんとかレスキューしたいと思って、枝を間引いて半分以下のボリュームにしました。バジルは多年草なので、ひょっとしたら復活するかもしれません。・・・だと良いけど。

来年栽培するときには、以下の点に気をつけようと思います。

- ①なるべく家の近くに植える。(水遣りや花の摘み取り作業が楽にできる)
- ②できれば鉢植えにする。(3本もちゃんと育てば手に負えない位に枝と花をつける。)
- ③真夏は寒冷紗で日陰を作ってやる。



午前中、家の周りの畑の草刈をして、バジルの手入れをしました。その後、トウモロコシを6本ほど収穫しました。汗だくになったので、今日の農作業はお仕舞いにして、午後からは鮎の仕掛けの手入れをしました。

二日連続ですが、おやつにトウモロコシを茹でて食べました。完熟のトウモロコシは美味しいです。

今日は月に一度の検針日です。給与所得の無い隠居者にとっては給料日のようなものです。前回の検針日(7月22日)からの30日間で2356kWh、売り上げは98,952で先月の1ヶ月間(2213kWh)を上回りました。先月よりも日照時間は短くなってる筈ですが、晴天の日が多かったことが一因であると考えられます。

## 8月22日(木) 雷雨で幕引き

朝7時前に自宅を出て日野川(根雨)に向かいました。国道180号線に出ると赤茶色に濁り増水した高梁川が見えました。昨夕、新見では1時間に54mmのゲリラ雨が降ったらしいので、その影響なのでしょう。新見市街を抜けて、千屋川に目をやるとクリアで平水でした。日野川は大丈夫そうです。

根雨に着いて最初に日野病院前の淵を国道から眺めてみました。例年なら鮎が沢山見えるのですが今日はちっとも見えませんでしたし、釣り人もいませんでした。次に津地橋の上から川をみ

ました。とても魚影が薄いと感じました。オトリ屋さんに行って川の状況を聞くと、去年よりも鮎は多いと言われました。どうもリップサービスっぽい感じです。

榎橋の上から見てもやはり魚影は薄かったのですが、少し上流の鉄橋の下に入りました。

釣り始めたのは10時前でしたが、12時までちっとも魚信がありませんでした。悪いことに、アオミドロが流れてきてラインやオトリに絡まり、とっても気分を損ねます。下流に釣り人が一人いらっしやいましたが、竿は曲がっていないようです。



昼食後、場所を黒坂に替えました。ここでも最初の30分程は全くあたりがありませんでした。やはりアオミドロが流れてきます。最初のアタリがあったのは2時前で、パラパラと4尾掛けたところで雨が降り出して、その内に雷まで鳴り出しました。少し車の中で休んで雨や雷が収まるのを待ちました。一旦雨は小降りになったのですが、雷は鳴り止まず、その内に雨も勢いを増してきました。

結局3時には切り上げました。雷雨で中止するのは今シーズン初めてです。折角調子づいてきたところだったので超残念です。

## 8月23日(金) ムカデ芝の生育状況

先日太陽光発電所を乗用草刈機で除草したのですが、刈りっぱなしにしていた草も枯れ始めたので、今日は刈った草を除去しました。春に種を蒔いたムカデ芝を少しでも健やかに成長させたいからです。

ムカデ芝の種を蒔く前に、除草剤を撒いて雑草を枯らしたのですが、却って色んな雑草が生えて生えて生えまくりました。お仕舞いには、草丈が膝くらいにまで生い茂ってしまったので乗用草刈機の出番になったのでした。

草を刈ると、びっしりとは言えませんが、ポツポツとムカデ芝が目を出しているのが見えます。今年他は他の雑草に負けていますが、ムカデ芝は多年草、他の多くの雑草は一年草なので、来年は頑張って勢いを増して欲しいものです。

昨日に引続いて、家の周りの草刈をしました。いつも使っている刈り払い機のエンジンの吹き上がりが悪いようなので、別の刈り払い機を使いました。午後から調子の悪い刈り払い機のエンジンを分解してみました。キャブレータのあたりに問題があるのではないかと思ったのです。少し掃除をして組み立てて、始動してみました。少しは良くなったような気がしましたが、気のせいのような感じです。以前同様に吹き上がりが良くありません。

エアフィルタがぼろぼろになっていたのも、除去したら却って悪くなったように思えたので、あり



あわせのスポンジを切ってエアフィルタを即席で作りました。これで少しは良くなったような気がしますが、やはり気のせいようです。

夕方インターネットで調べたところ、キャブレータのダイヤフラムという部品がへたばると吹き上がりが悪くなるようです。思えば、この刈り払い機は、いつ買ったか分からないくらいに昔に買ったものです。でもエンジンはいつも20秒以内に始動します。安い部品らしいので、農機具屋さんに相談して可能であれば、部品を取り寄せてもらおうと思います。



## 8月24日(土) エンジンの修理

昨日インターネットで調べた結果、刈り払い機の吹き上がりが悪いのは、キャブレータの中のダイヤフラムという部品が劣化しているのが原因ではないかということで、農機具屋さんに行って部品(ダイヤフラム)を買って帰りました。農機具屋さんで修理をお願いするのが一番良いのかもしれませんが、何でもDIYでやってみたいのです。エンジンの調子が悪くなったのも何かのご縁ですから。

今朝は起きる前から雨がしとしとと降っていたので、じっくり腰を落ち着けてエンジンを分解しました。農機具屋で洗浄スプレーも買って来たので、分解したついでに綺麗に掃除をしました。

ダイヤフラムは小型スピーカのような部品で、特に破れたりしていませんが、経年で劣化するのでしょうか。組み立てた後でエンジンを始動してみると、吹き上がりは以前と同じ程度です。燃料がぽたぽたと漏れているのに気付きました。良く調べてみると、キャブレータのダイヤフラムを挟むネジの締め付けが弱いようでした。強く締め付けてから試運転すると、吹き上がりが良くなりました。

もともと電気屋なので、エンジンや機械にはあまり興味がなく、触ったこともありませんでしたが、なんとか目的は達成できました。



## 8月25日(日) イチジクのカラス対策

私のイチジクは定植して2年目です。今年は実を付けさせています。秋になると甘くて美味しいイチジクが実る予定なのですが、そうなるとカラスが気になります。折角、苗木を買って植えたのにカラスに横取りされたのではたまりません。

このイチジクの樹は自家用に植えたものなので、柵を作るような予定はありませんが、一応、一文字整枝に仕立てています。

手元に魚網の廃品があるので、これを使ってカラス除けネットを張りました。フレームの材料には裏の竹藪から切り出した竹を使いました。竹の端にはPETボトルを嵌めこんで網のすべりを良くしました。いずれも材料費はゼロです。

1時頃から始めて5時前に完成しました。イチジクの樹はもう一本あるんですが、そちらのネットはいつ作りましょうか?それとも1本は対策して、もう1本は未対策にして、結果を比較して効果を確認するというのも良いかもしれません。

今朝は未明から雨が強く降っていて、大雨警報まで発令されていました。予定されていたクリーン作戦と共同作業(草刈)は中止になりました。

9時頃になると雨脚が弱まり、正午頃には降り止みました。



## 8月26日(月) 九頭龍へGo!

停滞前線が南下して、西日本に豪雨をもたらした雨は一段落したようなので、再び福井県の九頭龍川に鮎釣りに出掛けました。午前中は、畑で野菜を仕入れてクーラーボックスに詰め込みました。とうもろこし、なす、ピーマン、オクラ、トマト、ズッキーニ、ねぎ、大葉、ゆず、茗荷、バジル、山椒の実、唐辛子、たまねぎ等々です。想定しているメニューは、麻婆茄子、そうめん、スパゲッティ、野菜炒め等です。

昼ごはんの後、スーパーで買い物をしてから院庄ICから中国道に乗りました。いつもは渋滞を避けて舞鶴道を通りますが、平日の昼間なので渋滞も無かろうと予想して、今回は名神道を経由して北陸道を通るルートを通ります。実際、目だった渋滞もなく、北陸道の神田PAまで来ました。

途中のPAやSAでちょこちょこ寝たり休憩したりして、最終的には明日の朝、福井北ICを出る予定です。こうすると深夜割引料金が適用されるのでお得なのです。節約節約！



## 8月27日(火) 九頭龍川再遠征初日

朝6時過ぎにもりいし釣具に寄って掛け針と氷を仕入れて、中島の河川公園に行きました。そこで小澤さんと小野田さんに合流しました。お二人は先週の土曜日から九頭龍に来られているとのことでした。

川の状況は、ほぼ平水やや高しというところで濁りはありません。

午前中、左岸側分流を中洲に渡ってやりました。おとりが繋がる程度にぼつぼつと掛かりました。昼飯のために、中洲から公園側に帰る時、流れに逆行するして川を渡るため、少しきつい感じでした。これ以上水が高いと帰れなくなりそうです。

午後からは、中洲に渡らず左岸側でやってみましたが、全然かかりません。仕方がないので、また中洲に渡りました。風も次第に強くなって7~8m/s位は吹いていたでしょう。ヨットには程好い風ですが、鮎釣りには好ましくありません。午後からの釣果は10尾くらいでした。サイズは17~20cmでした。根掛かりなどのライントラブルは無く楽しく鮎釣りができました。ただし、タモで受けるときにミスキャッチして、中ハリスを2回切ってしまいました。腕が悪いのと相まって、風が強いのも一因でしょう。また、今回は仕掛けを極力細いものにしていたので、切れやすいということもあったかもしれません。ちなみに、仕掛けは、水中糸:メタル0.05号4m、ツマミ糸:ナイロン0.6号、中ハリス:ナイロン1号、ハリス:ナイロン1.5号に掛け針は8号と8.5号を松葉チラシにしたものです。前回、九頭龍川に来たときに、錘をつけてライントラブルが頻発したのと、鮎がそれ程大きくなかったので、細糸仕掛けで錘なしにしました。



## 8月28日(水) 九頭龍川再遠征二日目

今日も中島で遊びました。午前中の釣果は、たったの一尾でしたが、午後から九尾を加えて、やっと二桁でした。自分としても不本意ですが、午前中は対岸の釣り人の竿も殆ど曲がっていませんでした。

午後からタックルを変えて、錘を付けて引き釣りをしたのが良かったのか、時間的に釣れる時間だったのかは不明です。昨日の錘なしの時よりも、掛かった鮎のサイズは大きくなりました。

釣師の小澤さんに、オトリの引き方についてアドバイスしてもらって、なんか少しわかったような気がしました。いままでは、ただ漠然と引いていたのですが、おとりと穂先を合わせると、オトリが弱らずに上って行くのが実感できました。何を今更の感がありますが、恥かしながらです。これで釣

果アップ間違いなし！かな？



## 8月29日(木) 九頭龍川再遠征三日目

釣り客は昨日よりも増えています。ジャパンカップ最終戦の前々日だということも一因かもしれません。

天気は晴れ、明日から天気が崩れる予定なので、今日が遠征最終日になるかもしれません。

中島の中洲に渡り、左岸側の分流から始めました。急瀬にオトリを送り込むと、いきなり良型の鮎が掛かりました。爆釣の予感がしましたが、一旦取り込んだ掛かり鮎を仕掛けに取り付ける時に逃がしてしまい、一からやり直し。一遍に気分が害してしまいました。

午後からは雲が多くなり、釣果は伸びず、結局10尾ほどでした。

「錘を使って石を釣れ」と言われているのですが、石のある場所はおぼろげにはわかるのですが、オトリと石の位置関係が正確に把握できていないため、偶然に掛かることが多いのです。偶然ではなく意図的に掛けることができるようになりたいものです。



## 8月30日(金) 九頭龍川再遠征四日目

天気予報では、午前9時頃から雨で昼には強くなるということだったのですが、午前中は晴れ間が覗くこともありました。昨夕から気温が高く、午前中は生暖かい風が吹いていました。

ジャパンカップ最終戦の延期が決定されたためか、台風や前線の影響で天気が崩れるという予報のためか、釣り客は少なくなりました。

今日は、中島左側分流の左岸に入りました。入川しやすいので、いつも大勢の釣り客が居るポイントなのですが、今日は私の他は一人だけでした。

錘を付けて引き釣りの練習をするために、水中糸は0.6号のフロロに錘は3号を使いました。オトリを入れて5分もしない内に、最初のあたりがあって、20cm位の鮎が掛かりました。こんなに簡単に鮎が掛かるんだったら、何も高価な金属糸なんて使わなくても良いんじゃない?と思ったりしました。オトリを交換して、暫くすると、ウグイが掛かりました。これでオトリが弱ったのか、石の間に入って根掛かりしてしまいました。やっぱり下手なんです。これで、フロロの仕掛けを失くしたので、仕方なく0.05号のメタルに2号の錘で引き釣りをしました。竿は荒瀬用で、糸は最低0.08号という仕様のため、糸の太さがミスマッチなのです。「大きな鮎は掛からないでくれ!」と念じて釣っていると、大きな鮎が掛かってしまいました。下がって慎重に取り込むと、約22cmの鮎でした。この大きな鮎をオトリにして、再び「大きな鮎は掛からないでくれ!」と念じていると、15cm位の鮎が掛かりました。この時、あたりは殆どなくて、ゴミが掛かったのかと上げてみたら、この鮎が掛かっていました。その後も大きな鮎をオトリにして引き釣りを続けましたが、あたりは途絶えてしまいました。



## 8月31日(土) 帰宅しました

今朝7時半頃、我が家に到着しました。福井からの途中、綾部PAと勝央SAに停車して仮眠をとりました。帰り道では、殆ど雨に遭うこともなく、至って順調に走りました。約420kmの行程を18時間かけて運転するので、仮眠というより、ぐっすり睡眠しています。

帰宅してから、衣類の洗濯、車内の掃除、道具の整理、車の洗車などをしてしていると、昼になってしまい、昼からは雨が降り始めました。

午後からは、九頭龍川で仕掛けを沢山ロストしたので、次回の釣行のために仕掛け作りをしました。